

豆じいいで味噌づくり～のびのびの日体験活動～

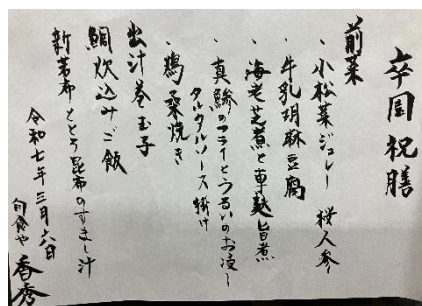
味噌づくりを始めて今年で2年目。栄養士の千喜良先生から、味噌づくりへ向けてわかりやすく楽しいお話をいただき、とても楽しみにしていた子ども達です。豆じい（大豆のことを子ども達は親しみを込めてこう呼びます）を使った給食がでると、「あっ！豆じいだ。やったー」と言っているのもよりモリモリ食べています。味噌づくりは「茶々の会」の大桃さんと志田さんに教えていただきました。やわらかく炊かれた大豆をつぶすことが楽しかったらしく「つぶすの楽しかったー♪」と感想を教えてくださいました。麴と塩を混ぜ仕上げに味噌玉を「えいっ！」と味噌樽に投げたのも楽しかったそうです。秋には出来上がり予定です。楽しみです！



マナー教室での和食

1年間様々な事にチャレンジし、頑張ってきたゆりさん。そのご褒美もかねて『旬食や香秀』さんと和食を味わってきました。「和食とはどんなメニュー？」「えっ!?お店で食べられるの？」と期待とうれしさいっぱいの子ども達でしたが、お店に入ると落ち着いた雰囲気から、急に静かになって緊張している姿も見られました。目の前に並んだ和食に思わず「おいしそう～」と声が出てしまった子ども達。お店の方から、箸の持ち方、汁もののお椀のあけ方、食べ方、和食について…とたくさん教えていただきました。一口食べるたびに「おいしい～!!」と笑顔いっぱいになり、パクパクと食べ「これは何ですか？」と食材にも興味を持っていました。

和食はユネスコ無形文化遺産に登録されたことご存じでしたか？外国の方にも人気だそうです。「これからも大切にしようね」「おいしく食べてね」とお店の方から教えてもらいました。これからも大切においしく味わってみたいです。





めぐみ幼稚園だより

No.6 2025.3.24

題字 あやめ

玄関ですれ違った年長男児の腕に目がとまり、思わず振り向きました。スモックの肘から下が見事に裂け、腕のところがかろうじてゴムで止まっています。いっぱい遊んだ証拠と嬉しくなります。

この時期の年長児の特徴でもあります「歯が抜けること」を教えに来る子が多くいます。子ども達にとっては1番良く見える大人の証かもしれません。今年もそんないろいろな成長が見られる嬉しい春が巡ってきました。子ども達の表情や声も自信にあふれています。

「幼稚園は楽しい所でしたか？」毎日、毎日一緒に過ごしながらも、改めてこんなに大きくなったのだと気が付きます。のびのびとした環境で過ごした子ども達には、この先も自分の好きなことや楽しいことをたくさん探して欲しいのです。

先日、そり遊びに行ったスキー場に、高校の全国スキー大会回転の部で優勝した横断幕が掲げてありました。その前で記念写真を撮り、子ども達には「みんなの先輩だよ。めぐみ幼稚園を出た人だよ」と教えてあげました。努力をされた本人も、それを支えたご家族の方も大変だった事と思いますが、先生たちみんな喜び合いました。誰でもできる事ではないけれども、頑張っているいろいろな事を目指すみんなに、どんな未来が待っているのか楽しみです。

私たちが未来ある子どもたちの土台作りにかかわれることは喜びです。これからも「もの、ひと、こと」と深く関わる環境の中で、安心して夢中になれる時間を作り続けていきたいと気持ちを新たにしています。

今年度もたくさんのお見守りのおかげでのびのび過ごすことができました。ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いいたします。

園長 羽鳥敦子

雪いっぱい！雪あそび

今年、園庭には2階にいる子ども達と目線が合うほどの雪が積もりました。春・夏・秋と様々な経験をし、心も体も逞しくなった子ども達は、あっという間に雪とお友達になりました。

新雪に飛び込んで顔が真っ白になっても、冷たくて泣くどころか「楽しいー！」「もう1回！」と大笑い！雪に足をとられても、どうやったら抜け出せるか、どうやったら前に進めるかいろいろ考え、試し、全身を使って脱出！

少しくらい雪が降っていようが、全く気にせず遊び続けます。道具やおもちゃがなくても、いろいろな遊びを考え、作り出し友達と一緒に楽しんでいる子ども達は、遊びの天才ですね。雪国だからこそできる経験をたくさん楽しんでいます！



のびのびの日～園内バージョン～

朝の支度を終わると「いってきまーす」と遊戯室や他のクラスへ遊びに行く子。

自分の部屋で遊びだす子と様々です。小さいクラスの子は、1学期の頃は

友だちの遊ぶ様子を見ていたり、「先生、遊ぼう」と先生がいないと不安な子もいました。今は自分の遊びたいところに行き、やりたいことを見つけ「〇〇ちゃん遊ぼう」「〇〇しよう」と友だちを誘い、一緒に遊ぶことを存分に楽しんでいます。

部屋では、ままごと（お家ごっこ）、レゴブロック、トミカ、ぬり絵、SDG'sコーナーでの工作が人気です。遊戯室では、絵本コーナー、積み木、とび箱、縄跳び、鉄棒、鬼ごっこ。3学期に入ると自分たちで考え、いろいろな道具を組み合わせせてサーキットや滑り台を作って、体を使いダイナミックに楽しむ姿が見られるようになりました。

のびのびの日は、異年齢の交流もいつも以上に増え、道具の貸し借りができたり、折り紙の折り方を教えてもらったり。小さいクラスの子は大きいクラスの真似をして遊び、大きいクラスの子は自然と優しく声をかけ、いろいろな事を教えてあげる様子もみられ、良い交流をしています。



子ども達にインタビュー🎤

のびのびの日でたのしかったことは？

年長児（ゆり組）

- 😊 幼稚園じゃない場所でおいしいお弁当が食べられたこと
- 😊 「ミートボール・ハートの卵焼き・ゆかりご飯がおいしかったよ」
＜外で食べると美味しいよね！苦手な物でも、外で食べると食べられちゃうから不思議！＞



年中児（さくら組）

- 自然大学の先生とトンボをつかまえたこと
- 😊 「トンボって俺のこと好きだから、こうやって指を上げただけで俺の指に止まるんだよ！
またやりたいな～」

年少児（ちゅうりっぷ組）

- 😊 「ゆりさんのお部屋に行ってSDG'sで工作したのが楽しかった！」「ゆりさんみたいに作ってみただけどすごくむずかしかったよ。ゆりさんってすごいね」

満三歳児（たんぽぽ組）

- 😊 バスに乗って遠くに遊びに行けたこと
＜保育室ではイスを縦に並べて、バスごっこをして楽しんでいます＞



進級を意識して

一日入園、卒園式練習などという話を聞くと「もうすぐゆり組だね」と子ども達の方からも自然と声上がるようになってきます。進級に対する期待がさらにふくらむよう2月後半頃から年長児が行っている活動「サッカー、お茶、習字」を年中児が見学・体験します。

年中児は楽しみな気持ちとちょっぴり緊張し参加していました。そして、やっぱり「ゆりさんはすごい！」「かっこよかった」とあこがれの気持ちを持ったようです。年長児はかっこいいところを見せようと、いつも以上の力を発揮し、とても立派でした。このように、異年齢の交流をすることでお互い良い刺激となり、ひとまわりもふたまわりも成長していきます。

